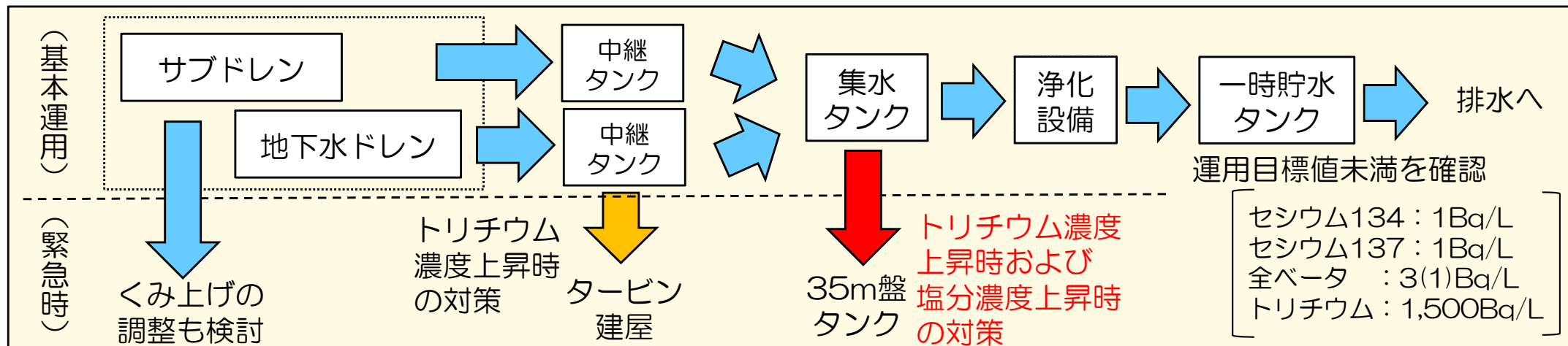


サブドレン他水処理施設における地下水ドレン移送ラインの設置について

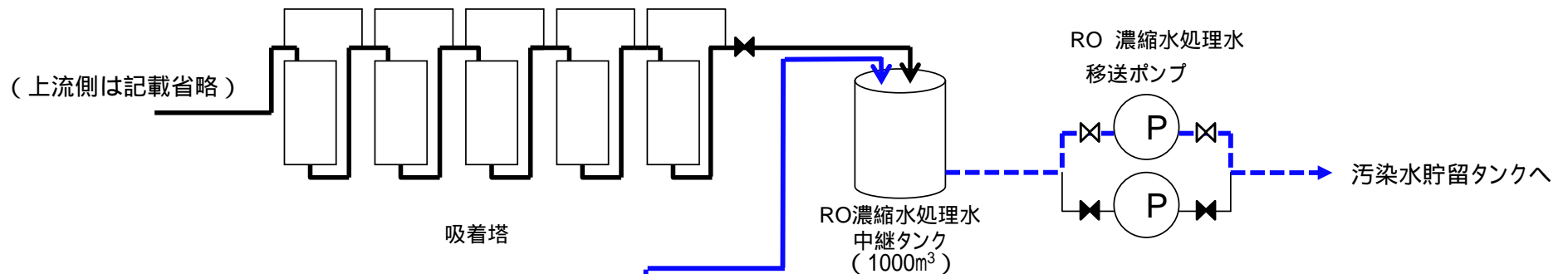
- サブドレンと地下水ドレンは集水タンクにて集水し、浄化設備を通して排水する計画です。
- くみ上げた地下水は、浄化後の一時貯水タンクの水質が確実に運用目標未滿となるよう、浄化設備に移送する前工程である集水タンクでも水質を確認します。
- 集水タンクのトリチウム濃度が上昇した場合、集水タンクの水質に影響を与えている可能性のあるサブドレンのくみ上げを調整するなどの対応も検討します。一方、地下水ドレンは集水タンクの水質に影響を与えている可能性があった場合にも、海側遮水壁から地下水が溢れないよう、くみ上げを継続します。
- 地下水ドレンでくみ上げた地下水は、トリチウム濃度上昇時に備えて、地下水ドレンの中継タンクからタービン建屋に移送できるよう移送ラインを設置済みです。（これまでにご説明済み）
- 一方、地下水ドレンでくみ上げた地下水は、海近傍からくみ上げた水であるため、塩分濃度が高いことも予想され、タービン建屋に移送した場合、セシウム吸着装置の処理に影響を及ぼす可能性があることから、移送先の多様化を図るために、集水タンクを経由して、35m盤のタンクを移送先とした移送ラインを設置します。



<概要>

- 地下水ドレンでくみ上げた地下水を，集水タンクを経由，RO濃縮水処理設備の配管を経由して汚染水貯留タンクへ移送するラインを設置。

RO濃縮水処理設備



サブドレン他水処理施設

